



# あさひ野

あさひ野小学校だより  
令和4年1月11日  
第9号

〈育てたい子供像〉 夢いっぱいの子 知恵いっぱいの子 思いやりいっぱいの子

## 壬寅（みずのえとら）年の初めに

校長 水島 祐司

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり有難うございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

表題の壬寅は、2022年の干支です。その意味を調べてみると「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるそうです。これらを考え合わせると、「壬寅」は、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表すこととなります。コロナ禍で多くの人々が閉塞感を感じている今、明るい見通しがもてる干支と言えるのではないのでしょうか。



暦のことを調べてみると天の暦というものも存在するようです。そのひとつが「二十八宿」です。それによると2022年は「参宿（しんしゅく）」にあたります。「参宿」とは何事にも好奇心を持ってポジティブに進めば、華々しい成果が期待できる、希望にあふれる年になると言われているようです。この天の暦と干支（地の暦）を組み合わせると420年が1周期になります。では、「壬寅」「参宿」が重なった、今から420年前にはどんなことが起きていたのでしょうか。

2022年の420年前、1602年という年は江戸幕府が成立する前の年になります。1602年には、日本史の授業で習うような特筆すべき事柄はあまり無いものの、翌年から始まることになる栄華の時代の幕開けのために、徳川家が着々と準備を進めていた年ということになります。言い換えれば、その後260年以上も続く安定した時代へと向かう、夜明け前の年だったのです。これも今後に希望がもてる史実と言ってよいように思います。新たな年は、アフターコロナを見据え、希望を胸に力強く生きていきたいものです。

本校の子供たちが大変お世話になっている夢創塾の塾長、長崎喜一さんは、お話を伺っているだけで元気をいただける方です。それは、長崎さんが常に夢をもち続け、それを熱く語ってくださるからにほかなりません。

子供たちは、新年を迎え今年の日当てを立てています。今年の日当てはもちろん大切ですが、子供たちには、将来に向けて自分なりの夢や希望をもってもらいたいと思います。そうするためには、子供に関わる我々大人自身が、長崎さんのように夢をもち続け、それを子供たちに熱く語りかけることが大切だと思いますし、そうありたいと心に誓った年の初めでした。



# 1月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
9	10	11 始業式 給食開始 校内書き初め大会 職員会議 安全パトロール隊	12 身体測定・視力 測定 チャレンジテスト (計算)	13 学力調査 (国・理)	14 学力調査 (算・社)	15
16	17 委員会活動 チャレンジテスト (漢字) 安全パトロール隊	18 GIGAスクール 特別講座 4~6年	19 コアトレ1・2年	20 安全パトロール隊	21	22 朝日町小中 書き初め展 (~2/6)
23	24 職員会議 給食週間 (~31日) 安全パトロール隊	25	26 コアトレ3・4年	27 スキー学習会 (4~6年) 冬の集会 (1~3年)	28	29
30	31 委員会活動	2/1 安全パトロール隊	2/2 学習参観・学級 懇談会 中学校説明会	2/3 避難訓練 防災検定 (1・3年)	2/4	2/5

※ この予定は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更があり得ることをあらかじめご了承ください。

## 12月の学校生活より



<書き初め練習会>

<紙すき 6年>

<ボランティア委員会 メッセージ>

